

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | 表紙 目次   |
| Sub Title        |   |
| Author           |   |
| Publisher        | 慶應義塾経済学会  |
| Publication year | 1958  |
| Jtitle           | 三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.51, No.6 (1958. 6)  |
| JaLC DOI         |   |
| Abstract         |   |
| Notes            |   |
| Genre            |   |
| URL              | <a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19580601--001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19580601--001</a> |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 三田學會雜誌

慶應義塾經濟学会

六月号

|  |  |   |   |  |           |
|--|--|---|---|--|-----------|
| <p>昭和三十三年上半年給目次</p> <p>経済学関係文献目録</p> <p>書評及び紹介</p> | <p>J・L・シュミットの恐慌理論………常盤政治(五)</p> <p>——戦後景気循環の体系的研究の一齣——</p> | <p>ドイツ三月革命における労働者階級の役割………飯田鼎(五)</p> <p>——カール・オーベルマン「一八四八年の革命におけるドイツ労働者」を讀んで——</p> | <p>現代経済機構における労働組合………佐野陽子(四)</p> <p>——生産構造と費用配分率——</p> | <p>論 說</p> <p>ソ連の計画経済における均衡………氣賀健三(一)</p> <p>ドイツ農民戦争の歴史的意義(下の二)………寺尾誠(二)</p> | <p>資料</p> |
|--|--|---|---|--|-----------|

第五十一卷

第六号

昭和三十三年六月二十四日  
昭和三十三年五月二十三日  
昭和三十三年五月二十三日  
発行(毎月第一、九〇三行)  
第三種郵便物認可

昭和三十三年五月二十四日  
昭和三十三年五月二十三日  
昭和三十三年五月二十三日  
発行(毎月第一、九〇三行)  
第三種郵便物認可

三田学会雑誌

昭和三十三年五月号

定價 金九〇円 (送料別)

## MITA GAKKAI ZASSI (Mita Journal of Economics)

Vol. 51, No. 5

May, 1958

### CONTENTS

|  |                          |
|--|--------------------------|
|  | Page                     |
| On the Agrar-policy of <i>Toshiaki Honda</i> .....                         | <i>T. Shimazaki</i> (1)  |
| The Boston Associates and American Industrial Revolution .....             | <i>K. Nakamura</i> (13)  |
| Concentration and Centralization of Capital, and Monopoly .....            | <i>I. Kitahara</i> (30)  |
| Über Mengers Lehre von den Bedürfnissen ...                                | <i>E. Mochimaru</i> (47) |
| On Land Reform Acts and Market Economy in People's Republic of China ..... | <i>A. Hirano</i> (62)    |
| Reviews and Notes  |                          |

Published for  
**KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI**  
(The Keio Economic Society)  
Editorial communications to be sent to  
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,  
Keio-Gijuku University,  
Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.  
Price 90 yen

書評及び紹介

エドワード・ネヴィン著『国家債務の問題』……………古田精司(五〇)

ソ連の計画経済における均衡

気賀健三

ソ連の計画経済は営利的競争と無政府生産にかわって、計画的(比例的または均衡的)発展の法則にしたがって発展するというのがスターリンの命題である。計画経済における発展の均衡的または比例的という言葉の意味は、ソ連経済の現実を照してみると、はなはだ曖昧である。市場経済的な価格制度のもとでは、均衡とは一定の価格における需要と供給の均等化であり、価格と生産費の一致の傾向であり、利潤率の平均化である。また動態的には、貯蓄と投資の均等である。この価格による均衡は必ずしも非自発的な失業がないことを保証しない、また事情によっては不安定な均衡であることもある。また存在する生産要素の最も効率的な利用を意味するとはかぎらない。けれども、とにかく不均衡が生ずるとき価格は変動し、需給の均等をもたらすべき新しい高さに移動しようとする作用が働く。或る均衡が生産手段のはなはだしい遊休を伴ったり、多数

ソ連の計画経済における均衡

の非自発的な失業者を伴うものであるときには、政府によって均衡のより完全な状態への回復のための刺戟が与えられる。この刺戟の方法は、市場経済のメカニズムのなかでは、やはり価格調節の方法か、貨幣的操作(購買力の調節)によるのが主であって、或る新しい価格体系のもとにおいて、一つの均衡へむかわせようとするものである。すなわち、市場経済のもとでは、均衡は多数の需要者と多数の供給者のあいだの競争の結果として生ずるもの——いわば個々の経済主体の意思から独立して客観的に成立するもの——であって、政府または一部の経済的勢力の意思によって支配しうるものではない。

経済の一般的均衡にかんする市場経済の特長は、経済的發展の過程についてもあてはまる。政府や、社会の一部のひとびとがいかなる程度の成長率の実現を望むとしても、それは、多数の個人、多数の企業の決意の合成として、——外国貿易、技術の発達、人口の消長などを考慮すれば、国家的に統御しえない要因は非常に多い——